

組合だより

【 第275号 平成29年5月 日本羊腸輸入組合 】

「中国から日本向けに輸出される塩蔵天然ケーシングの家畜衛生条件」が本年4月1日に発効し1ヶ月が経過しました。組合事務局としましては、この制度の変更で流通上の混乱が生じることを心配していましたが、現時点では、大きな問題なく移行していると思われまます。ただ、指定施設の追加申請の扱い、検査証明書記載事項の徹底、中国以外の天然腸供給国との新衛生条件の合意など、気に掛かる点は多々残っています。

制度の変更に伴う短期的な懸念とは別に、中長期的には、組合員以外の市場への参入動向や天然腸輸入業界への影響、個々の天然腸の取引条件への影響、中国以外の国からの輸入が継続できるか等々、注意深く見ていく必要があると思料いたします。

この5月31日に開催します第54回通常総会は、検査消毒事業が廃止された後の組合のあり方について、組合員の皆さまから貴重な御意見をいただく場になると考えます。まだ、招集案内はお手元に届いておりませんが、組合員のみなさま御多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願いいたします。

1. 平成29年4月の主な組合活動報告

- 4月 5日 神奈川労連等との団体交渉
- 4月19日 平成28年度第8回理事会
理事（6名）・監事（2名）の全員が出席し、平成28年度の事業報告及び平成29年度事業計画等について審議し、第54回総会提出議案を承認しました。
- 4月20日 神奈川労連等との団体交渉

【財務省通関統計】

平成29年3月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 371.6 t (前月比+67.6 t、+22.2%/前年同月比+ 49.4 t、+15.3%)
- ・中国原産 292.9 t (" +78.8 t、+36.8%/ " +124.4 t、+73.8%)
- ・豪州原産 62.8 t (" +16.4 t、+35.4%/ " △ 53.5 t、△46.0%)
- ・NZ原産 15.0 t (" △26.6 t、△63.9%/ " △ 19.6 t、△56.6%)

【組合受付統計】

平成29年4月の組合受付数量は、次のとおりです。

- ・受付数量 合計：84,234ハクス
(羊腸：84,234ハクス、豚腸：0ハク)
- ・前月比 △465,656ハクス(△84.7%) /前年同月比△631,338ハクス(△88.2%)

*詳しくは組合ホームページをご確認ください。

【従業員の異動（退職）】

4月17日付けで成田検査所消毒職1名及び4月30日付けで成田検査所検査職4名・消毒職5名が退職（検査所閉鎖に伴う解雇）しました。

2. 検査所だより

【横浜検査所（八幡橋消毒所）の動向】

①4月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	53,400	137,314	190,714	0
豚腸	0	12,800	12,800	0
計	53,400	150,114	203,514	0
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸=ハクス、牛腸=Bundle)

【新山下検査所の動向】

①行く春とともに、新山下検査所も閉鎖となります。

ここまで、いろんな出来事が有りましたが、職員同士が助け合いながら最後まで消毒、検査業務を果たす事ができました。

皆様の長年にわたるご愛顧に職員一同、心より感謝申し上げます。

誠に有難うございました。

②4月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	36,700	114,170	150,870	0
豚腸	0	0	0	0
計	36,700	114,170	150,870	0
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸=ハクス・牛腸=Bundle)

【成田検査所の動向】

①4月の航空貨物の搬入数量は、10,000ボックスで、対前月比5.5%でした。

②4月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種 類	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
航空	羊腸	10,000	86,510	0
	豚腸	0	0	0
	合計	10,000	86,510	0
船舶	羊腸	0	0	0
	豚腸	0	0	0
	合計	0	0	0
合計	羊腸	10,000	86,510	0
	豚腸	0	0	0
	合計	10,000	86,510	0

(単位：羊・豚腸＝ボックス、牛腸＝Bundle)

3. 今後の主な予定

○5月31日(水) 第54回通常総会・懇親会

以 上